

Windows11 へのアップグレードについて

このたび、マイクロソフト社よりオペレーティングシステム(以下、「OS」という。) Windows11 が発売されるとともに、Windows10 を搭載しているコンピュータの Windows11 へのアップグレードを無償とする報道がありました。

OS のアップグレードは、機能強化や性能向上などの効果が期待される反面、Windows10 利用時よりも高いシステム要件等が求められ、機器によっては、動作が遅くなる等の不具合が生じることもあります。また、新しい OS の登場に伴い、各種アプリケーションソフトや周辺機器のデバイスドライバが新しい OS に対応せず、後日になって更新プログラム等が配布されることもあります。このようなことから、現時点では、原則、Windows11 へのアップグレードを行わないこととします。

1 教員系コンピュータ		
	① 校務利用のコンピュータ	・ 個々の対応は不要 (校務用の端末は、Windows アップデート等の更新作業をデータセンター側で管理しています。)
	② ドメインに参加していないコンピュータ	・ 学校で判断・対応すること
2 生徒系コンピュータ		
	① 県立学校学びのイノベーション推進事業で整備したコンピュータ (例: Surface Go2)	・ 当面の間、アップグレードを行わない
	② コンピュータ教室のコンピュータ	・ 当面の間、アップグレードを行わない
	③ 上記以外の端末	・ 学校で判断・対応すること

※アップグレードを可能とする時期については、市場の動向を見て、改めて連絡します。